

2015北海道YOC (Young Officials Camp)

- ◇目的
- ・2020年開催の東京オリンピックに向けて北海道協会として若手審判員の育成と、同世代の審判員が集って研修を行う事による連帯感の強化およびモチベーション向上を図る。
 - ・30歳以下の上級審判員養成の一助とする。

◇日時 平成27年3月7日(土)～8日(日)

◇会場 3月7日…東海大学附属第四高等学校
→中学北海道選抜・中学大阪市選抜・東海大四高の練習マッチ(男子)
3月8日…札幌市立厚別中学校
→中学北海道選抜・前年度中学北海道選抜の練習マッチ(男子)

◇対象者 28歳以下の日本公認審判員・25歳以下の北海道公認審判員

◇講師 北海道バスケットボール協会審判委員会

審判委員長	北本 健二
審判副委員長・指導育成グループ長	阿部 聖
審判副委員長・指導育成副グループ長	古畑 香子
指導育成グループ	中田 英教
指導育成グループ	田中 充

◇内容 <3月7日(土)>

- 8:20 集合
- 8:30 開講式
- 9:00 実技…ゲームを使用して
- 17:30 レクチャー
グループ協議
…【目標設定における具体化とその考え方】
- 18:30 終了、宿舎へ移動

<3月8日(日)>

- 8:30 集合
全体ミーティング
…【PDCAサイクルと段取り力について】
- 9:30 実技開始 ※実技内容は前日と同様
- 12:30 閉講式、解散



受講者の感想より

【札幌地区 高橋伸禎】

自分自身の課題を深く考えさせられ試合の中で挑戦することが出来ました。これから地区へ戻ってシーズンが始まるので、今の課題を一つずつ良くしていきたいと思います。また、そこから見えてくる課題に今講習会で学んだことを照らし合わせて挑戦(Do)をしていきたいと思っています。

【札幌地区 政氏拓留】

同年代のレフリーと交流できる機会を設定していただきありがとうございました。今回、自分の考えていることや、思っていることが正しいことなのかそうでないのかを知ることができました。公認として主審をすることが多くなるので、その中で相手と協力しながら自分の目標を設定しクリアしていきたいと思っています。





【苫小牧地区 白川航平】

良いものを継続していくために、今日の講習会で経験できたことは、これからのレフェリング活動を行っていくに対し、非常に勉強になったと感じています。また、多くの方々から観られて、今の自分はどこが悪いのか、どこを改善していけばいいのかを講師や受講生からアドバイスをいただき、ステップアップにつながったと思います。一つ、これからのYOCで行っていきたいと考えたのは、受講生も積極的にミーティングの場で発言できるといいと思いました。ということで互いを高め合うためにも何かしら受講生として考えていきたいと思っています。

【函館地区 大内 翼】

普段集まらない方々との交流もでき、大変勉強になりました。自分の気づけなかった部分、今まで言われたことのない指摘や話を聞くことができたのは、次につながるものになったと思います。特にリバウンドのシュートボールを見てしまうということに関しては、すぐに意識を変えていけば、改善を早くできると思うので心がけていきたいと思っています。改善をするだけでなく、それを判定することにつながるために、講師の話の中にもあった「習慣づける」ことを無意識にできるようにしていきます。今回はこのような講習会に参加させていただき、ありがとうございました。この経験を必ず次に活かしていきたいと思っています。



【南空知地区 新屋聡子】

同年代の方と一緒に審判することができて、とても刺激になりました。男子の選抜のゲームはレベルが高くて、普段審判する機会がありませんので、自分に足りないものがたくさん見つかり、今後のトレーニングをもっと頑張ろうと思えました。今まではただ審判をして、反省をして終わっていましたが、講習会を通して自分の課題の改善点を明確にし、そのために何をすべきなのかを決めることで、ゲームに入る意識がまったく違うのだなと思いました。これから練習ゲームや地区の大会で審判をしていくときも、自分の目標をしっかりと持って取り組んで行こうと思います。



【北見地区 村中怜美】

課題は多くありますが、地区で言われる事と上級の講師の方々に言われた事に共通がありました。見方の部分でもっとこだわりや工夫をしていこうと思います。今後地区に戻り、今回のYOCで2対2、3対3の見方のアドバイスをいただいたのでチャレンジしていき、自分のものにしたいです。ご指導頂く機会がありましたらまたよろしく願いいたします。ありがとうございました。



【名寄地区 八代千穂】

同じ世代、年齢の方と交流ができて刺激になりました。特に、同じ年齢の方に初めて会うことができ、これから審判活動が続ける際に仲間であり、ライバルになっていくのかなと思いました。アドバイスも上級の方々にしていただき、自分の問題点、課題が明確になりました。国家試験が近く、参加するかどうか迷いましたが、参加して本当に良かったと思いました。まずは公認を目指してこれからも頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。



【札幌地区 津辻貴之】

今回、2度目のYOCに参加して、上を目指していく審判として何が必要なのかを学ぶことができました。いつも審判をした後、どこが良かったのか、悪かったのか反省をすることはしていましたが、それをどうすれば改善できるのかまで考えたことがありませんでした。次こうすればいいだろうと思っても、それは具体的ではなく抽象的なことで、実際にコートに立ったとき、迷ったり、困ったりすることが多くありました。しかし、2日間の講習会を通して、審判のスキルを磨き、次にレベルアップするためには、実行しただけで終わるのではなく、それを具体的にどのように改善していかなければいけないのかを考えることができ、これからの審判活動においてとても大切なことだと思いました。また、同年代の審判員と交流することができ、良い刺激になりました。このような機会を作っていただきありがとうございました。



【札幌地区 鈴木春花】

今年、2回目の参加ということで、去年よりも良い部分を出せたと思います。上級の方々の的確なアドバイスで、私の今後の課題が明確になりました。また、他地区の同年代と関わり、とても実りのある講習会となりました。このような機会がたくさんあれば良いなと思いました。2日間ありがとうございました。

【釧路地区 牧野兼作】

今講習会に道Bとして参加しましたが、参加する前から地区の審判員の方々からもライセンスに関係なく、自分の持っているものを出してこいと言われており、自分なりに実行できたと感じている。同世代の道内の審判員が一堂に会するという講習会は、地区の講習会とは違い様々な部分で学ぶことが多かったり、課題と感じている部分を共有できたりともものすごく良い経験になった。同い年に高いレベルのゲームを吹いている審判員もいるので、早く彼に追い付けるように今後の審判活動を頑張ろうと思います。講師の皆様、今回は本当にありがとうございました。



【函館地区 金澤隆吾】

このような講習会に参加できたことにありがたみを感じています。分担や視野の向け方、四原則など、今までの自分のとらえ方とは違った意見をいただいて、自分の考え方が少しずつ変わりつつあります。自分の同い年の高校生も来ていたので、負けないようにこれからも頑張っていきたいと思います。これを機に人として、審判としてもっともっと成長していけるようにこれからも精進していきます。ありがとうございました。

【北見地区 田村亮太】

今回の講習会で、審判としての考え方や感じ方が変わったと思っています。この2日間でご指導していただいたことは大きな収穫になりました。次回もこの講習会があればぜひ参加させていただきます。2日間大変お世話になりました。ありがとうございました。

